



バッテリーチャージャー&パワーサプライ INC100J 取扱説明書



目次

1.	安全のための注意事項	P3
2.	事故を防止するために	P4
3.	充電の準備	P4
4.	チャージャーの設置場所	P4
5.	車載バッテリーに充電する場合	P4
6.	車外のバッテリーに充電する場合	P5
7.	交流電源への接続と延長ケーブルについて	P5
8.	設置方法	P5
9.	コントロールパネル	P6
10.	使用方法	P7 - P10
10.1.	フルオート充電	P7
10.2.	マニュアル充電	P8
10.3.	充電時間	P9
10.4.	出力電流	P9
10.5.	充電中止	P9
10.6.	100A リプログラミング	P10
11.	充電時間	P11
12.	チャージャーのメンテナンス	P11
13.	保管	P11
14.	故障かな?と思ったら	P12
15.	仕様	P13
16.	製品保証	P14 - P15

1. 安全のための注意事項

バッテリーへの充電や本製品の取扱いを誤ると死亡または重傷を負う危険があります。

本説明書を熟読し、その取扱い及び危険性を理解し、バッテリー取扱いの知識を有するプロフェッショナルのみがご使用いただけます。それ以外の方は絶対に操作してはいけません。危険性の重要度に応じて下記のアイコンを付しています。

危険 誤った使用をすると操作者や周囲の人が死亡や重傷を負う危険があります。

警告 誤った使用をすると場合によっては操作者や周囲の人が死亡や重傷を負う危険があります。

重要 誤った使用をすると、バッテリー、車両、車両電装品などを損傷させる可能性があります。

警告 感電や火災の危険性

- 1.1 コードの損傷防止のため、電気コードを抜く時にはコードを引っ張らずに、コンセントをつかんで引いてください。
- 1.2 できる限り延長コードの使用は避けてください。万一使用する場合は次のことを留意してください。
 - ・延長コードに損傷がないこと。
 - ・延長コードの定格容量は本製品の容量に対して余裕があること。
- 1.3 電源コードや充電コード、コンセントに損傷がある場合は使用を中止し、専門の知識をもったサービスマンに修理・交換を依頼してください。
- 1.4 強い衝撃や落下した充電器は外部に損傷が無くても使用を控え、専門スタッフの点検を受けてください。
- 1.5 点検や修理が必要な際には必ず専門スタッフに依頼し、自分で分解しないでください。不正な組立は感電や火災の原因となります。

警告 引火生ガス発生危険性

- 1.6 バッテリーは作動時に引火生ガスを発生しています。バッテリー近辺での作業は危険を伴います。
- 1.7 バッテリーの破裂を防ぐために、バッテリーおよび車両の取扱説明書該当箇所を参照すること。



使用前に必ず本説明書を熟読して下さい。



雨や雪などが直接かかる所で使用しないで下さい。



使用時にはゴーグルを着用して下さい。



火気厳禁。スパークするものに近づけないで下さい。



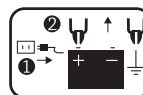
肌の露出を避けてください。



子供の手の届く所に置かないで下さい。



可燃性ガスによる爆発の危険があります。



接続・取外し時には必ず電源コードを抜いて下さい。



感電の危険があります。



換気のよい場所で使用して下さい。

2. 事故を防止するために

警告 引火生ガス発生の危険性

- 2.1 指輪やブレスレット、腕時計などの金属製品は身につけないでください。鉛バッテリーによるショート事故では金属製品は溶解し、身体に重篤な火傷をもたらすことがあります。
- 2.2 金属製の工具類をバッテリーの上部に置かないでください。バッテリーショートやスパークを発生させ、バッテリー破裂を引き起こすことがあります。
- 2.3 本チャージャーは12V鉛バッテリー専用です。それ以外のバッテリーを充電することはとても危険です。バッテリーの爆発や発熱により重大な怪我や火災を引き起こすことがあります。
- 2.4 凍ったバッテリーを充電してはいけません。
- 2.5 作業は一人だけの環境では行わないようにしてください。万一、肌がバッテリー液に触れたり、液が目に入ったりした際には、すぐに助けを呼び、大量の水と石鹼で洗い流してください。
- 2.6 バッテリー液が肌や服に付着した場合はすぐに大量の水と石鹼で洗い流してください。万一目に入った場合は、清潔な水で10分以上洗浄し、医師の診察を受けること。バッテリー液を飲み込んだ場合は、牛乳や卵の白身や水を飲んでください。無理に吐こうとせず、医師の診察を受けること。

3. 充電の準備

警告 バッテリー液＝腐食性がある硫酸液、に接触する危険性

- 3.1 バッテリーケーブルの不要なコードやテープ類などを取り外してください。
- 3.2 バッテリーを車両から取り外す場合は、必ずマイナス側から外してください。スパークなどを防止するために電装品類は電源を切ってください。
- 3.3 バッテリーターミナルの汚れを落とします。腐食物を吸い込んだり、目に入ったりしないように注意してください。清掃時に重曹と水を使用すると腐食粉が空中に浮遊することを防止できます。
- 3.4 必要に応じてバッテリー液を適切なレベルまで補充します。詳細はバッテリーの取扱説明書を参照してください。
- 3.5 充電電流や時間はバッテリーの取扱説明書を参照し、関係する電装品や車両についてもバッテリー充電に伴う注意事項等は必ず理解しておくこと。
- 3.6 バッテリーの充電電圧はバッテリーや車両の取扱説明書に従ってください。
- 3.7 チャージャーのクリップは確実にバッテリーターミナルに接続すること。

4. チャージャーの設置場所

警告 バッテリー破裂、バッテリー液との接触の危険性

注意！本チャージャーは最大1KW以上の出力を持っています。専門の知識と訓練を受けたプロフェッショナル専用品です。無線障害を引き起こす可能性もあります。そのような場合は適切な処置を実施してください。

- 4.1 バッテリーチャージャーはできる限りバッテリーから離れたところに設置してください。
- 4.2 バッテリーの上にバッテリーチャージャーを置かないでください。バッテリーが発するガスが本チャージャーを傷めることがあります。
- 4.3 バッテリーをバッテリーチャージャーの上に置かないこと。
- 4.4 バッテリー比重計測や液補充時にバッテリー液をチャージャー等に垂らしたりしないように気をつけてください。

5. 車載バッテリーに充電する場合

警告 バッテリー周囲でのスパークがバッテリー破裂を起こす可能性

- 5.1 電源コードや充電コードをボンネットやエンジン可動部で破損させたり、クリップ部が車両金属部に触れたり、エンジンなどの高熱部に触れないように留意して設置すること。
- 5.2 バッテリー端子極性を確認しておきます。
- 5.3 車両アースの極性を確認しておきます。通常はグラウンドアース（車両シャーシ）がマイナスです。
- 5.4 チャージャーをバッテリーに接続する際には、必ずプラス（グラウンドアースではない方）から接続します。その後にマイナス（グラウンドアース）である車両シャーシに接続します。この際には燃料パイプなどを避けます。バッテリーから離れたエンジンブロックなどが最適です。
- 5.5 電源コードを接続し、「液（車載）AGM/密閉」を選択し、**●** ボタンを押し出力を開始します。
- 5.6 チャージャーの接続を外す際には、**●** ボタンを押しして出力を停止させて、車両シャーシ側から外します。

6. 車外のバッテリーに充電する場合

警告 バッテリー周囲でのスパークがバッテリー破裂を起こす可能性

- 6.1 バッテリー端子極性を確認します。
- 6.2 マイナス端子に 1m 程度の AWG4 以上のケーブルを取り付けます。
- 6.3 赤色プラスクリップをバッテリーのプラス端子に接続します。
- 6.4 6.2 で取り付けたケーブルをできる限りバッテリーから離して、その先に黒色マイナスクリップを接続します。
- 6.5 接続時にはバッテリーに顔を近づけない。
- 6.6 電源コードを接続し、「液（車外）」を選択し、 ボタンを押し出力を開始します。*
- 6.7 チャージャーの接続を外す際には、 ボタンを押しして出力を停止させて、マイナスクリップから外します。
- 6.8 船舶用バッテリーは必ず地上で充電してください。船内で充電する場合はそれらの環境に対応する専用のチャージャーを使用してください。

※過放電バッテリーの場合は、「ディサルフェーション」を選択してください。詳しくは P.9 を参照してください。

7. 交流電源への接続と延長ケーブルについて

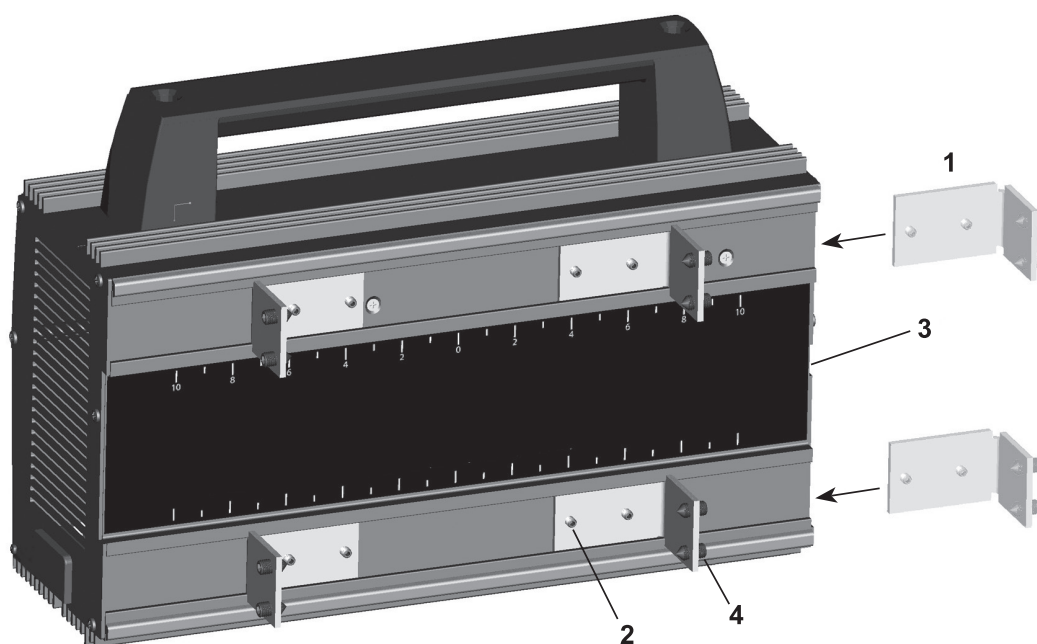
警告 感電および発火の危険性

- 7.1 本チャージャーは 100V、50/60Hz で作動します。安定的に正しい電力が供給される電源に接続して使用してください。
- 7.2 **危険** 電源コードやコンセントを交換しないこと。万一不具合がある場合は感電や感電死の危険があります。
- 7.3 延長コードの使用を避けられない場合は次の仕様を満たすものを使用すること。
30m までのコード：12 ゲージ以上。30m 以上のコード：8 ゲージ以上

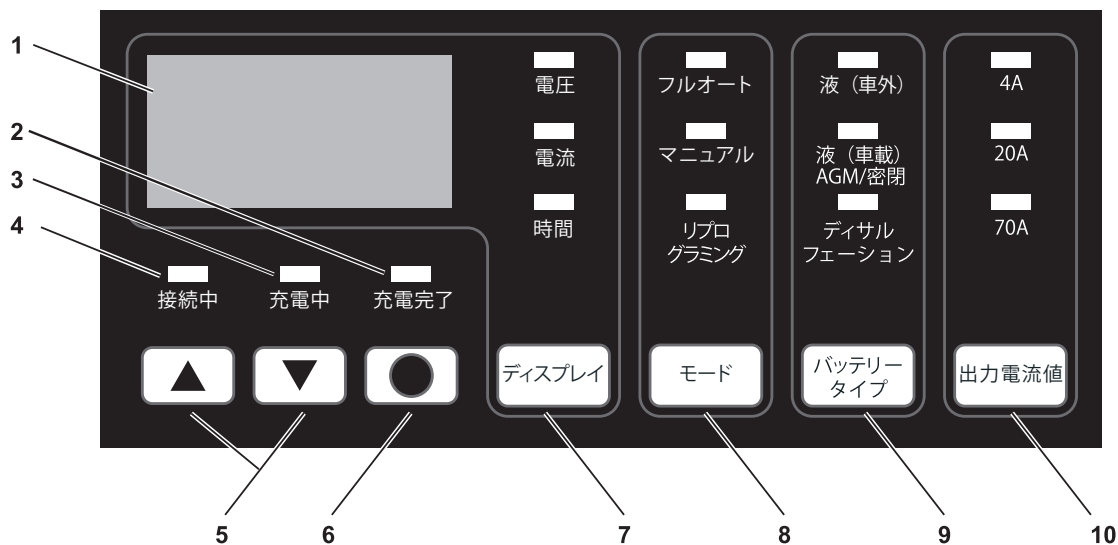
8. 設置方法

注意！ 本チャージャーは持ち運びタイプではありません。壁や機材に取り付ける場合は下記を参照してください。

- 8.1 取付ブラケット #1 を本体背面右側からスライドしてはめ込みます。その際に取付ネジ #2 を本体への接触傷を防ぐために緩めておきます。
- 8.2 #2 ネジ 8 か所を締め付けて、ブラケットを取り付けに都合のよい位置にしっかり固定します。
- 8.3 #4 ネジで取り付けます。







9. コントロールパネル




1		デジタル表示 パネル	電圧、電流、時間を表示します。
2		充電完了 LED	充電が完了し、メンテナンスチャージに移行するとグリーンに点灯します。
3		充電中 LED	充電中にオレンジに点灯します。
4		接続中 LED	バッテリーに正しく接続されるとオレンジに点灯します。
5		アップ/ダウン ボタン	時間設定と電圧設定を行います。
6		スタート/ストップ ボタン	すべてのモードにおいてスタートとストップ時に使用します。
7		ディスプレイ ボタン	ボタンを押すごとに表示される数値が変わります。 電圧：バッテリーの端子電圧値を表示します。 電流：バッテリーに出力されている電流値を表示します。 (±2A の誤差があり得ます) 時間 (10 分～120 分、Hld)：マニュアルモードでのみ表示できます。
8		モードボタン	ボタンを押して本チャージャーの出力モードを「フルオート」「マニュアル」「リプログラミング」から選択します。
9		バッテリータイプ ボタン	ボタンを押してバッテリーに応じた最適な出力設定を選択します。 液 (車外)：車外のバッテリーに充電する際に選択します。 液 (車載) AGM/密閉：車載のバッテリーに充電する際に選択します。 ディサルフェーション：長期間過放電で放置されたバッテリーを車外で充電する際に選択します。
10		出力電流ボタン	バッテリーの容量と普通 / 急速充電などを考慮して 4A/20A/70A から最適な出力電流値を選択してください。 注意！ディサルフェーションを選択した際には出力電流は選べません。

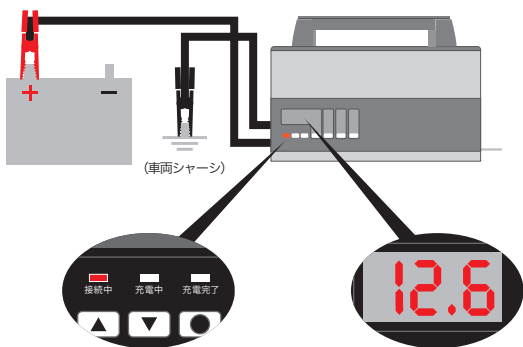
10. 使用方法

- ・対応バッテリー： 本チャージャーは容量 12Ah から 150Ah の 12V 鉛バッテリーを充電するのに適しています。20Ah 未満の小型バッテリーは 20A/70A では充電しないでください。
- ・チャージャーの操作： フルオートモードまたはリプログラミングモードが開始されると、 ボタンを押して停止させない限り他のボタンは機能しません。マニュアルモード時は  と  ボタンは機能します。ディスプレイに OFF が表示されている時は、5 秒間程度ボタンは機能しません。その後チャージャーはデフォルトの設定に戻ります。
- ・出力停止： 充電が適切に終了しなかった場合には充電は中止されます。中止されるとチャージャーは出力を停止し、「充電中」LED は点滅、ディスプレイには「**brd** (BAD)」「**brt** (BATTERY)」と交互に表示されます。 ボタンを押すとリセットされます。

10.1. フルオート充電 (推奨)

充電中は、「充電中」LED が点灯していることを必ずチェックしてください。バッテリークリップが外れた場合やエンジンを始動した場合は、セーフティが働いて充電は自動停止し、「充電中」LED も消灯、インジケーターには「OFF」後、バッテリー電圧が表示されます。 を押して再スタートしてください。

- 1 INC100J 本体に充電コード、電源コードを取り付けます。充電コードの赤色をバッテリープラスに、黒色をグランドアース (車両シャーシ) に接続し、電源コードを電源コンセントに接続します。「デジタル表示パネル」にはバッテリー電圧が表示され、「接続中 LED」が点灯します。



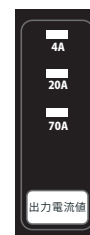
- 2 「モード」ボタンを押し、「フルオート」を選択します。




- 3 「バッテリータイプ」ボタンを押し、バッテリータイプを選択します。バッテリーが車載の場合は「液 (車載) AGM/ 密閉」を選択します。バッテリータイプの詳細は、p.6 の No.9 「バッテリータイプ」を参照ください。




- 4 「出力電流値」ボタンを押し、最大電流値を選択します。
※ディサルフェーションを選択した場合は設定できません。



- 5 「接続中」LED の点灯を確認し、「 スタート/ストップボタン」を押して充電を開始します。



注意! バッテリー電圧が 1V 以下の場合「接続中」LED が点灯しません。その場合は  ボタンを 5 秒間押し続けると充電が開始されます。または、マニュアルモードにより数分間充電してからフルオートモードに変更してください。

- 6 充電中は「充電中」LED が点灯 (オレンジ) します。充電が完了し、メンテナンスチャージに移行すると「充電完了」LED が点灯 (緑) します。



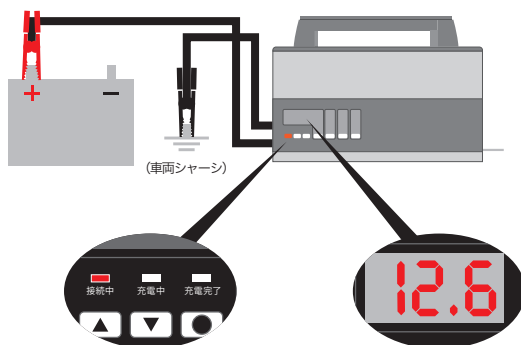
- 7 充電が完了し、メンテナンスチャージに移行すると「充電完了」LED が点灯 (緑) します。



10.2. マニュアル充電

過充電でバッテリー破損の恐れがあります。バッテリー充電中は常にバッテリーを監視してください。バッテリー充電が完了したら速やかに充電を停止してください。過充電を継続すると、バッテリーを破損させたり、バッテリー液、発生ガス、熱等により周囲を汚染したり、周辺の作業者に悪影響を与えることがあります。

- 1 INC100J 本体に充電コード、電源コードを取り付けます。充電コードの赤色をバッテリープラスに、黒色をグラウンドアース（車両シャーシ）に接続し、電源コードを電源コンセントに接続します。「デジタル表示パネル」にはバッテリー電圧が表示され、「接続中 LED」が点灯します。



- 2 「モード」ボタンを押し、「マニュアル」を選択します。



- 3 「時間」LED が点滅します。



- 4 「アップ」(▲) / 「ダウン」(▼) ボタンを押し、充電時間 (分) を設定します。時間制限をしない時は「HLd」を選択します。



時間 (分) は、「10」から始まり 10 単位で「120」まで選択できます。120 の次が「HLd」です。

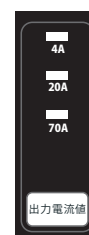
- 5 「バッテリータイプ」ボタンを押し、バッテリータイプを選択します。バッテリーが車載の場合は「液 (車載) AGM/密閉」を選択します。



バッテリータイプの詳細は、p.6 の No.9 「バッテリータイプ」を参照ください。

- 6 「出力電流値」ボタンを押し、最大電流値を選択します。

※デイスルフェーションを選択した場合は設定できません。



- 7 「接続中」LED の点灯を確認し、「スタート/ストップ」ボタンを押して充電を開始します。



注意！バッテリー充電中は常にバッテリーを監視してください。バッテリー充電が完了したら速やかに充電を停止してください。過充電を継続すると、バッテリーを破損させたり、バッテリー液、発生ガス、熱等により周囲を汚染したり、周辺の作業者に悪影響を与えることがあります。

- 6 充電中は「充電中」LED が点灯 (オレンジ) します。



- 7 充電を中止する場合は、「スタート/ストップ」ボタンを押します。



10.3. 充電時間

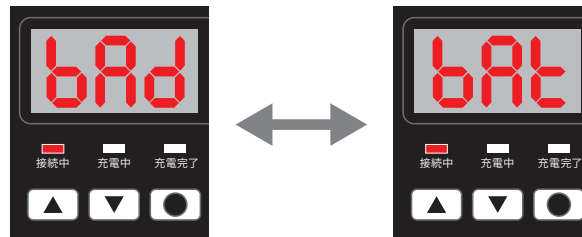
本チャージャーはバッテリーの充電状態により、安全に、かつ完全に充電できるよう時間を調整します。

10.4. 出力電流

20Ah 未満の小型バッテリーは 20A/70A では充電しないでください。20A/70A 出力選択時は、充電初期は低い電流から開始され、バッテリーの電流受入能力を監視しながら徐々に出力を上げて行きます。バッテリーの充電状態が満充電に近づくほど、過充電を防止するために出力電流は低下していきます。

10.5. 充電中止

充電が適切に終了しなかった場合には充電は中止されます。中止されるとチャージャーは出力を停止し、充電中 LED は消灯、ディスプレイには「bAd (bad)」、「bAt (battery)」が交互に表示されます。● ボタンを押すとリセットされます。



i ディサルフェーション

バッテリーの過放電が長期間続き、サルフェーションが進行すると、充電電流を受入れることができない場合があります。このような場合は「バッテリータイプ」で「ディサルフェーション」を選択し、車外で充電してください。最適なディサルフェーション効果を発揮するために、フルオートモードを推奨します。ディサルフェーションがすすみ、充電が完了すると充電完了 LED (緑) が点灯します。これには 10 時間程度を要する場合があります。ディサルフェーションが困難なほどバッテリーの劣化が激しい場合には、充電は中止されます。マニュアルモードを選択した場合は設定した時間でディサルフェーションが停止します。また時間制限をしない場合でも 10 時間で停止します。
注意！サルフェーションが進行したバッテリーは寿命を著しく損なっています。充電により一時的に回復したとしても、本来の容量に戻ることはありません。バッテリートラブルを避けるためにバッテリー点検を頻繁に行い、必要に応じて交換してください。



i メンテナンスチャージ

「充電完了」LED (緑) が点灯すると、本チャージャーはメンテナンスチャージに移行します。バッテリーを満充電に保つためにバッテリー電圧を 13.2V に維持するよう、必要に応じて低電流を出力します。



i 電圧表示

チャージャーは電圧を表示します。バッテリー電圧は充電直後には高く、放電直後には低くなります。

i 冷却ファン

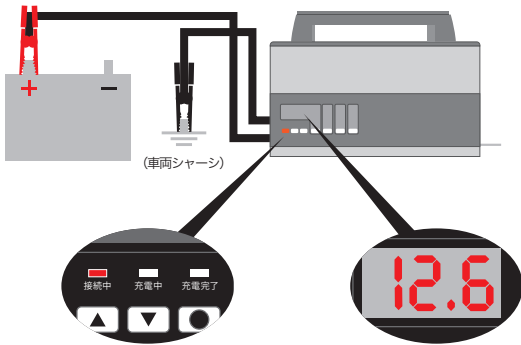
本チャージャーは作動中の発熱に応じて冷却ファンの作動・停止を自動で行います。ファンの吸入・排出口が塞がれないように注意してください。チャージャーの冷却が不十分で温度が高熱になった場合は、出力は停止されます。

10.6. リプログラミング

注意！ 車両のバッテリーが劣化していたり過放電していたりする際には絶対に本モードを使用しないでください。バッテリーは良好で十分に充電されていることを確認してから開始してください。

リプログラミングモードでは継続的に最大70A、3分以内の短時間では最大100A を出力します。

- 1 INC100J 本体に充電コード、電源コードを取り付けます。充電コードの赤色をバッテリープラスに、黒色をグランドアース（車両シャーシ）に接続し、電源コードを電源コンセントに接続します。「デジタル表示パネル」にはバッテリー電圧が表示され、「接続中 LED」が点灯します。



- 2 「モード」 ボタンを押し、「リプログラミング」を選択します。



- 3 「電圧」 LED が点滅します。



- 4 「アップ ▲ / ダウン ▼」 ボタンを押し、車両が指定する電圧に設定します。「電圧」 LED の点滅が終了すると電圧設定は完了です。



電圧の設定範囲は、13.0 V から 14.8 V で、0.1V ずつ調節できます。

- 5 「接続中」 LED の点灯を確認し、「スタート / ストップボタン」を押します。



- 6 終了する場合は、「スタート / ストップボタン」を押します。



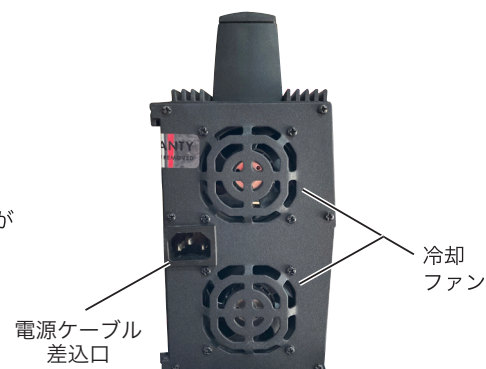
※バッテリー交換のバックアップにも使用できます。

11. 充電時間

充電時間はバッテリーサイズ、充電状態とチャージャーの出力電流によって異なります。チャージャーの出力電流はバッテリーサイズに応じて適切に選択します。電流値が高いほど充電時間は短くなりますが、バッテリーサイズに対して出力値が高すぎると、バッテリーの破損や破裂、劣化を生じることがあります。必ずバッテリーの説明書を参照してください。

12. チャージャーのメンテナンス

- 12.1 メンテナンスを実施する前に必ず電源コンセントを抜いてください。
- 12.2 ケーブルや本体の汚れをふき取ります。
- 12.3 100 時間の使用毎にエアガンなどで、冷却ファンの汚れを吹き飛ばします。
注意！汚れをファンシャフトやベアリング部に吹き付けしないでください。ファンの動作が鈍くなると本チャージャーのオーバーヒートを引き起こし、出力が停止します。
- 12.4 クランプやケーブル被覆、本体などに劣化や破損がないことを確認します。
- 12.5 分解はしないでください。大変危険です。内部部品の供給はありません。



13. 保管

- 13.1 使用しない時は電源コードを抜いておいてください。
- 13.2 屋内の乾燥した場所に保存してください。

14. 故障かな？と思ったら

症 状	予想される原因	対処方法
デジタル表示パネルに表示が無く、LED も点灯しない。	電源が入っていない。	電源に電力がきているかを確認して下さい。
ディスプレイに 0.0V と表示されている。	チャージャーのクランプとバッテリーの接続が不十分か、逆に接続されている。	接続を再確認して下さい。
	バッテリーの電圧が 1V を下回るほど劣化しているまたは破損している。	バッテリーの状態をバッテリーテスター等で診断して下さい。
充電中に表示される出力電流が、選択したものよりも低い。	延長コードを使用している場合、その容量が少なく十分な電力が供給されていない。	適切なコードを使用して下さい。
	バッテリーの劣化が進んでおり、充電を受入れる能力が低下している。	ディサルフェーションを実施して下さい。 *回復しない場合は、当バッテリーは使用不可。
	バッテリーの充電状態が高い。	充電が進むほどバッテリーが負担なく受入れる電流値は下がります。 本チャージャーはバッテリー保護と安全のためにバッテリーの充電状態に応じて出力電流値を低減します。
充電が始まらない。	バッテリーが 1V を下回るほど過放電している（フルオートモードのみ）。	● ボタンを 5 秒押して、強制的に電流を流し、充電を開始します。 *バッテリーが破損していると思われる場合はすぐに充電を中止して下さい。
冷却ファンから大きなノイズがする。	ちりやほこり、劣化したグリスが冷却ファンのスムーズな回転を阻害している。	冷却ファンの汚れを取って下さい。
デジタル表示パネルの電圧表示が、10.5V 未満。	バッテリーが劣化しているか、クランプ接続が不十分。	接続の再確認とバッテリーの診断を実施して下さい。
デジタル表示パネルの電圧表示が、10.5V から 12.7V。	バッテリーの充電状態が低い。	充電して下さい。

15. 仕様

入力電圧		100V 50/60 Hz 10A	
出力	充電時	液（車外）	最大 15.5V 4A / 20A / 70A
		液（車載）AGM/ 密閉	最大 14.4V 4A / 20A / 70A
	ディサルフェーション時		最大 15.8V
	リプログラミング時		直流 13-14.8V 0-70A, 最大連続 3 分間 100A
サイズ		350 × 235 × 110 mm	
重量		4.75 kg	
ケーブル長	充電コード		3.1 m
	電源コード		2.7 m
使用温度		-20 °C ~ +40 °C	
使用湿度		0 ~ 90%	
耐用時間 (MTBF)		85,000 時間	

16. 製品保証

米国 Schumacher Electric 社は本製品に以下の範囲で保証をしています。

WARRANTY TERMS AND CONDITIONS

Schumacher Electric Corporation (the “Manufacturer”) or the resellers authorized by the Manufacturer (the “Reseller”) warrant this Charger (the “Product”) for two (2) years, according to the following stipulations. Any and all warranties, other than the warranty included herein, are hereby expressly disclaimed and excluded to the fullest extent permissible under applicable law. Legislation may imply warranties or conditions or impose obligations on Manufacturer which cannot be excluded, restricted or modified in relation to consumer goods.

Consumer End-User Warranty

Any claims under this warranty must be communicated to Reseller within 2 months after discovery of the non-conformity.

Resellers/Professional End-User Warranty

The Manufacturer provides a limited warranty for hidden defects or non-conformities. This warranty is subject to the following conditions:

- a. The Manufacturer only warrants hidden defects in material or workmanship present in their root cause at the moment of the first sale by the Manufacturer;
- b. Manufacturer’s obligation under this warranty is limited to repairing or replacing the Product with a new or reconditioned unit at the sole option of the Manufacturer;
- c. Manufacturer does not have any warranty obligations if the alleged defects were caused by abnormal usage, fair wear and tear, unauthorized use of the Product or use of the Product differing from the description in the applicable manual or other specifications given by the Manufacturer, insufficient care, repairs carried out by persons or entities or with parts not approved by Manufacturer, poor care, accidents, unauthorized changes or modifications, incorrect transport, storage or treatment of the Product;
- d. In order to exercise this right, the Product must be returned complete and in its original state and packaging, with mail costs prepaid, along with proof of purchase to the Manufacturer or its authorized representatives in order for repair or replacement to occur.

Common Warranty Provisions

The warranty mentioned above only applies to the first professional or consumer user having legally acquired the Product from the Manufacturer or a Reseller. No warranty is extended towards clients, agents or representatives of those buyers.

The Product is sold under the specifications, for the use and purpose in accordance with the provisions of this manual, with express exclusion and disclaimer of warranty of any other specifications, uses and purposes.

Authorized Resellers are prohibited from making any statements or providing any warranty in excess of the above warranties. Non-authorized resellers may only sell the product under the condition that they assume all warranty obligations with the total exclusion of any warranty provided by the Manufacturer.

Manufacturer does not provide any warranty for any accessories used with the Product that are not manufactured by Schumacher Electric Corporation.

This warranty does not exclude or diminish any claims the Manufacturer may have against the distributors of The Product.

THE MANUFACTURER NEITHER ASSUMES NOR AUTHORIZES ANYONE TO ASSUME OR MAKE ANY OTHER OBLIGATION TOWARDS THE PRODUCT OTHER THAN THIS WARRANTY.

Warranty, Repair Service and Distribution Centers:

Australia/New Zealand:

Schumacher Asia Pacific

53b/28 Burnside Road Ormeau 4208 Queensland

+61 7 3807 6510

sapsupport@schumacherelectric.com

Schumacher® and the Schumacher logo are registered trademarks
of Schumacher Electric Corporation.

日本国内において販売され、購入された製品については、当製品輸入元であるワーズインク株式会社が製品保証を提供しています。

本取扱説明書に従い適切に使用しており、購入後 1 年以内に製品本体に不具合や故障が生じた際には無償で修理いたします。保証を受ける際にはお買上時のレシートを添えて弊社またはお買上の販売店にご依頼ください。

弊社が認めるサービススタッフ以外による改造や修理が行われている商品については、本保証は適用されません。

また、本製品の不具合により発生した間接的な損害に対する補償は一切行われません。本保証は製品本体のみを補償し、製品の交換以上の補償は一切行われません。

ワーズインク株式会社 151-0064 東京都渋谷区上原 1-1-17 TEL03-5738-0510 info@was-inc.jp

